

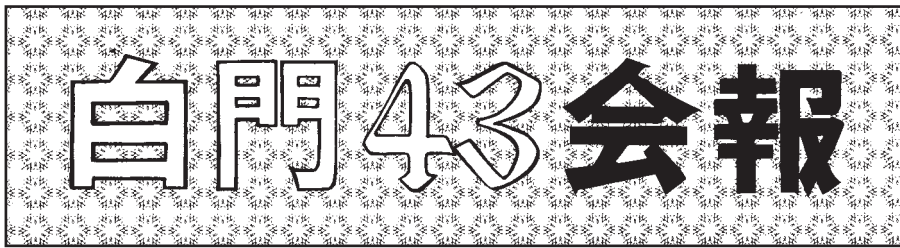
ホームページがリニューアル

白門43会のホームページは

「白門43会」→検索

で簡単に見ることができます。

白門43会の活動の案内はじめスケジュール、組織、役員、投稿などを簡単に見ることができます。



発行所 中央大学学員会白門43会

発行人 龍門海行

編集人 清水 正

電話 090-3699-9580

メール tds_shimizu@yahoo.co.jp



白門43会 卒業50周年を祝う会

卒業50周年を祝う白門43会の一同

なごやかに卒業50年の祝典
43会創立以来の喜び

白門43会の会員は卒業50年をむかえた。社会人として半世紀のみのり「同期生」の絆で強く、固く支えられてきた。歌舞伎、宝塚、寄席などの鑑賞や旅行、クルーズなどの記念行事の中心となる記念式典・祝賀会が昨年二月十七日(土)東京・東天紅で百名を超える出席者により開かれた。小塚副会長による「草のみどり」の斉唱は力強く「フリーフレー中央」「フリーフレー43会」でまとめる、50年間の重みが加わったような感じ。龍門会長は「私たちは希望・期待をもって中大へ入った。友達は財産、心の繋がりが43会の輪を大事に」と挨拶。母校の大村雅彦理事長、学員会の久野修慈会長はじめ各年次の代表から温かい祝福の言葉をいただく。協力社の編集による二つのビデオは「思い出の学生時代」と「箱根駅伝に優勝」とともに私達の関心が高いもの。参加者は時のたつのも忘れるほどの視聴の様子。

今日は多数のご来賓、会員のご出席まことにありがとうございます。私達は1968年に中央大学を卒業して50年、長い年でした。今ではみんなが70歳以上のメンバーになりました。当時大学に行ったら人は恵まれた人でした。夢、希望、期待をもって全国から中大に集まりました。卒業50年を伝えていきたいと考え、小冊子を作りました。ぜひご覧、お読みいただきたいと思っております。本日はありがとうございます。

友は財産です。体力と気力はありがたいものです。今日は決して安くはない会費で、余力をもった人の集まりです。43会に興味ある人が集まりました。心のつながりがありました。この輪を大事に継続したいと思っております。50周年のイベントを多数企画していきたいので、来賓、会員のみなさまのご健康をお祈り申し上げます。本日はありがとうございます。

龍門海行43会会長 あいさつ



50年間の思いを胸に「草のみどり」を斉唱

白門43会、2019年の総会は7月5日(金)、東京の上野精養軒で開かれます。1968年卒業同期の皆様、お誘いあわせのうえご出席ください。総会、講演会、懇親会を予定しております。

ご来賓の祝辞
佐々木幸男白門40年会支部会長 (先輩3支部を代表して)
こんにちは。私達40年会は3年前に創立20周年とあわせて卒業50周年行事を京王プラザホテルで行いました。そのとき43会からは龍門会長はじめ多数の会員、学員会から

大村雅彦中央大学理事長 作る予定です。事前相談中ですが、昨年5月から理事長を務めています。今入学試験がほぼ終わろうとしています。うれしいことは志願者が増えました。去年は7万人、今年には15万人の増加が割が増えました。重要な要因がありました。過去最高であり、うれしいニュースです。大学の中期事業10年計画のうち2年が過ぎました。新しい学部「国際経営学部」から心を燃えさせて大

吉永匡宏白門44会支部長 (後輩3支部を代表して)
昭和40年に入学、駿河台で先輩方と一緒にいた仲間です。50年がたちました。先輩方は心強い存在で、なにかと力をいたさいます。私達44会員は

御祝電
酒井正三郎中央大学総長 学長
ご卒業50周年記念式典及び祝賀会開催にあたり、ご盛

半世紀を祝う 記念行事の思い出



2月17日の「祝う会」参加者全員で肩を組みあう

年	月日	内容	場所
2017年	9月20日	散歩と寄席の会	清正公、自然教育園
	10月30日～11月1日	秋の旅行会	尾張、伊勢、志摩
2018年	1月15日	初春大歌舞伎を鑑賞	歌舞伎座
	2月17日	卒業50周年を祝う会	東天紅上野店
	3月9日	宝塚歌劇を鑑賞	東京宝塚劇場
	7月6日	卒業50周年記念総会	上野精養軒
	10月7日	ホームカミングデー特別招待	母校・多摩キャンパス
	10月31日～11月5日	気軽にショートクルーズ	ダイヤモンドプリンセス

歌舞伎・宝塚歌劇を堪能

宝塚歌劇の鑑賞会は2月17日の記念式典の余韻がまだ残る3月9日（金）、東京宝塚劇場で41名参加のもと、盛況であった。宝塚はいままでよく話題にはあがって来たところではあり、日常とちよつと違った雰囲気味わうには最適な場所。ところが劇場はいつも超満員、今回のような団体参加でないとなかなか無理。一般入り口の脇に仮設の受付を設ける。2階のS席2列に座ったわれ

われは会員だけでなく、家族、友人などの姿も多く見受けられた。演じられた「ポーの一族」はかつて少女雑誌「別冊少女コミック」に連載された漫画家・萩尾望都さんの代表作。永遠に生きる吸血鬼族を描いたもの。今回の花組公演ではトップスターの明日海りおさんはじめ、柚香光、仙名彩世さんなどが美しく綺麗な演技をみせてくれた。

終演後恒例になった懇親会は帝国ホテルをはさんで南側日比谷ビル内の「うすけぼー」で開かれた。これに先立つ1月15日（月）には東京・歌舞伎座において「初春大歌舞伎」を鑑賞、「高麗屋襲名披露公演」として車引（菅原伝授手習鑑）、寺子屋などの演目を堪能した。この日も多数の会員が参加、観劇のあとは「築地・藪そば」にて打ち上げ会が開かれた。



終演後の記念写真撮影はタカラジェンヌの像前



初春大歌舞伎に参集した多数の会員、歌舞伎座・酒樽の前で

50周年秋の旅行会

尾張・伊勢・志摩へ

43会の卒業50周年記念旅行会として17年10・11月、に32名の会員が尾張、伊勢、志摩へ3日間の旅を楽しんだ。旅行を企画いただいたの



初日は犬山。姫路、彦根など並ぶ数少ない国宝の城。堅固な造りの内部と展望室からの濃尾平野の眺望を楽しんだ。続いて明治村へ、明治期に作られた煉瓦、石、木などさまざまな素材による大小の素晴らしい建築を楽しんだ。

2日目は日本の聖地・伊勢神宮へ。外宮を訪ねたあと内宮の神楽殿では特別参拝のあと御祈禱をいただいた。神楽を鑑賞、ちよつと別の世の中の雰囲気味わった。伊勢うどんや手こね寿司などの伊勢名物をいただいたあとは「おかげ横丁」を散策。「神宮御古館」では神宮の成りたちや式年遷宮の記録など貴重な資料を見学。夜の宴会は松阪牛のすきやき。

最終日は英虞湾クルーズを楽しんだあと、二見浦へ、セイウチのショーを見たり、寶日館の歴史的な建物を見学して、3日間の行程を終えた。（写真は神宮御古館で）

卒業50周年パンフレットを制作

2月17日の「卒業50周年を祝う会」にあたって、当会は「卒業50周年記念」の写真を主体とした小冊子を制作、全会員と先輩、後輩の各年次支部長に配付した。龍門会長の「50周年を迎えて」挨拶、在学当時の駿河台理工学部のカンパス風景、白門祭、思い出の御茶ノ水などの写真、在学中の時間割り表、学費表、卒業アルバム



など、わずか8ページのなかで初めて目にするものも含めて多くの写真を掲載、いつまでも残る思い出の写真集となった。

制作は（株）ノラ・コミュニケーションズ（諏訪書房）、社長は大学同窓の中川順二氏、編集を担当

活動報告

〈白門43会の動き〉

2017年（平成29年）	5月 13日（土）	学員会総会に出席	駿河台記念館	17日（土）	卒業50年式典	東天紅上野店
	24日（水）	「白門43会報」第25号を発行		3月 9日（金）	宝塚歌劇鑑賞会 「ポーの一族」	東京宝塚劇場、うすけぼー
	6月 7日（水）	役員会	駿河台記念館・魚盛	4月 11日（水）	役員会	駿河台記念館、えびす
	7月 3日（月）	第24回定時総会	上野精養軒	5月 19日（土）	学員会総会に出席	駿河台記念館
	8月 2日（水）	役員会	駿河台記念館・魚盛	6月 6日（水）	役員会	駿河台記念館、吉池食堂
	9月 13日（水）	臨時役員会	駿河台記念館・太一	16日（土）	42年白門会総会に出席	駿河台記念館
	20日（水）	講師と歩く散歩と寄席の会		7月 6日（金）	卒業50周年記念総会（第24回）	上野精養軒
	10月 4日（水）	役員会	駿河台記念館	8月 1日（水）	役員会	駿河台記念館、魚盛
	14日（土）	大学箱根駅伝予選会応援	昭和記念公園	10月 3日（水）	役員会	駿河台記念館、太一
	22日（日）	第26回ホームカミングデー	多摩キャンパス	7日（日）	第27回ホームカミングデー	多摩キャンパス
	30日～1日	秋の旅行会	尾張、伊勢、志摩	13日（土）	大学箱根駅伝予選会の応援	昭和記念公園、鮎源
	12月 6日（水）	役員会	駿河台記念館	22日（月）	講師と歩く散歩と寄席の会	
2018年（平成30年）	1月 15日（月）	歌舞伎鑑賞会	歌舞伎座、やぶ蕎麦	31日～1日	気軽にショートクルーズ	
	2月 7日（水）	役員会	駿河台記念館、太一	12月 5日（水）	役員会	韓国、四日市、釜山、洋上駿河台記念館、ランチョン



ご宴会・ご婚礼
レストラン
出張料理

五野精養軒

〒110-8715 東京都台東区上野公園 4-58
TEL 03-3821-2181(代) FAX 03-3822-1330
<http://www.seiyoken.co.jp>

千代田パートナーズ税理士法人

代表社員
公認会計士 税理士 **長田康道**

〒101-0047
東京都千代田区内神田1-14-5 NK内神田ビル 3F
Tel 03-3233-2911 Fax 03-3233-2900
osada@cmaa.co.jp
<http://www.cmaa.co.jp>

Technology For People
モノ創り・がん医療で社会に貢献

(株) 庄内クリエート工業
代表取締役 小田治一

〒997-0845 山形県鶴岡市清水字内田元72-40
電話 0235-24-7922

<http://www.s-create.jp>

公益社団法人 全日本不動産協会会員
株式会社 リベラル

代表取締役 **黒須 勲**

国交大臣認定 不動産コンサルティングマスター
称号登録番号 (5) 第14840号

東京都台東区松が谷1-4-6
TEL 03-3847-8276

清家春夫

〒272-0835 千葉県市川市中国分5-11-2
電話 047-373-2120

株式会社 朝日コーポレーション

代表取締役 **玉澤 宏**

〒260-0807 千葉市中央区松ヶ丘町252-2
電話 043-308-9709

各種ご宴会 ご予約承ります

東天紅
TOH TEN KOH

ご予約・お問い合わせは 中国料理 東天紅上野店
〒110-8707 東京都台東区池之端1-4-1 上野不忍池畔
TEL.03-3828-5111 FAX.03-3828-5118
<https://www.totenko.co.jp>

「伝える」を、真剣に。
「つなぐ」を、多彩に。

東洋美術印刷株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-6-2
TEL 03-3265-9861 FAX 03-3265-9867
<http://www.toyobijutsu-prt.co.jp>

正野総合法律事務所

弁護士 **正野建樹**

〒102-0083
東京都千代田区麹町4丁目4番 麹町シャインビル704号
TEL: 03-3264-6452 FAX: 03-3264-6453
E-mail: t-masano@mue.biglobe.ne.jp
<http://masano-lawoffice.com/>

埼玉白蟻株式会社

代表取締役 **光國宏志**

〒350-1165 埼玉県川越市南台2-1-53
電話 0492-44-5469



母校・多摩キャンパスのグレート・ホールで卒業同期生

ホームカミングデーに三百人

同期の輪、力強く

第27回の中央大学ホームカミングデーが10月7日(日)、大学の主催、学員会の協賛により多摩キャンパスで盛大に開催された。催しの一つ「卒業後50年学員懇親会」に今年はおかれ43年卒業生がメインゲストとして招かれ、御祝いをいただいた。

心配されていた台風はそれたものの、10月としては異常の気候、気温30度を超えるこの日、午前10時からのグレートホールには中央の部分に卒業50年生のための指定席が設けられ、なつかしい顔、はじめて見る顔など多くのメンバーが勢ぞろいした。43会の幟旗3本が翻り、大学、学員会の首脳の挨拶に続いては恒例の3世代中央大学生への表彰が行われた。続いての音楽の祭典では高年生や卒業生のきれいな歌声がホールいっぱいに響き渡っていた。歌うグリークラブの中には43年卒業生がいて、司会者から紹介があった。

43年卒業生の記念撮影には最前列に大学首脳4名、そして多数の同期生が勢ぞろい、50年前の卒業式を彷彿とさせる光景であった。後日この写真プリントが出席者全員に送られ手元に残る良き思い出となった。

午後1時からヒルトップ4階の生協食堂において懇親会、配られた参加者名簿によればなんと出席者数は273名、同伴者(家族など)を含めれば300名を超えそうな盛況さ。全員が名札をつけ交流が行われた。参加者は43会未加入の方々もいて幹事による入会勧誘活動も盛んに行われていた。多忙なスケジュールの中それぞれ駆け付けていただいた大村理事長、福原学長から心のこもったお祝辞をいただいた。

サブライズが二つ、あの「すしざんまい」の美味しい握りずしがほぼ全参加者にゆきわたる数が用意され、途切れることない行列が宴の終わるころまで延々と続いていた。母校応援団によるエールをいただき、白門43会の龍門海行会長による挨拶により祝宴はお開きとなった。参加者にはお土産として「みりん堂」のお煎餅がプレゼントされた。

私達の卒業式における当時の井上達雄学長による「卒業式告辞」のコピーが参加者に配布され、在学4年間の年表とともに、多くの参加者が見入っていた。告辞は私達の「進む道」について述べられた大変味深いものであった。この中の資料によれば私達同期の学部卒業生は

8,504人であったとのこと。また記憶にもあるが大学紛争の影響で卒業式が遅れて、就職直前の3月30日に挙行されたことの記述もあった。

隣の部屋では卒業25年の祝典も開かれ、キャンパスは御祝いムード一色であった。

この日43年卒業生には最良の日であった。お骨折りのいただいた母校ネットワーク課、学員会事務局はじめ多くの部門、関係者の皆様にお礼申し上げます。

(清水 正)



同期生に43会への勧誘挨拶をする龍門会長

新入会員のご紹介

次の方々为新たに入会されました。名簿に追加記載してください。

- 大野 隆 経済学部国際経済学科 愛知県岡崎市在住
- 細谷幸夫 経済学部産業経済学科 横浜市中央区在住
- 安部省吾 法学部政治学科 川崎市麻生区在住
- 八木沢 清 経済学部国際経済学科 東京都中野区在住

卒業後 50 年の軌跡

西暦	和暦	できごと	世の中のできごと
1968年	昭和43年	中央大学第85回卒業式(8,504人)	小笠原島返還、初の心臓移植
1993年	平成5年	第4回ホームカミングデーで顔合わせ	新党ブーム、細川連立政権
1995年	平成7年	白門43会創立・第1回総会	地下鉄サリン、阪神淡路の震災
2001年	平成13年	白門43会のホームページを開設	21世紀がスタート
2005年	平成17年	会創立10周年	個人情報保護法、総人口初の減
2006年	平成18年	第12回総会	いじめ自殺社会問題
2007年	平成19年	第19回留学生との集いを共催	食品偽装、年金記録問題、「防衛省」が発足
2010年	平成22年	中央大学創立125周年	記録的猛暑、尖閣で漁船トラブル
2011年	平成23年	第17回総会	東日本大震災、福島原発事故
2013年	平成25年	第19回総会	20年東京五輪が決定
2015年	平成27年	会創立20周年 記念式典、記念誌を発行	マイナンバー制度、集団的自衛権 ノーベル賞に大村、梶田の両氏
2018年	平成30年	卒業50年 祝う会、記念総会 第27回ホームカミングデー 祝う会	トランプ・金正恩の米朝会談 医大での不正入試問題
2019年	平成31年	岡山へ春の旅行会	改元





2018年総会を開く 藤原駅伝監督が講演

講演「中大駅伝部の現状とこれから・中大の立位置」

中央大学陸上競技部 駅伝監督 藤原正和氏

**小塚正人さんによる
藤原氏の紹介**
藤原氏はすばらしい経歴と駅伝での見事な成績を残されています。3つをご紹介します。

①中央大学に在学中、陸上競技の厳しい練習をしながら、勉学に励まれ、文学部史学科にて総代として卒業されています。まさに文武両道の鑑といえましょう。

②中大4年生のとき、日本で最も歴史の長いびわ湖毎日マラソンに出場、2時間8分12秒で優勝、これは学生最高記録であり、また初マラソンとしての最高記録とともに今まで破られていません。藤原氏の教え子のなかからこれを破る人を出してほしいと思います。

講演内容

③第77回箱根駅伝の5区「山登り」をやったのが藤原氏です。あの日は風の強い厳しい条件下でした。すぐ前が順天堂、その前が法政、この2校を見事に抜き去りトッパで走り切った。往路優勝をなしとげたのです。中大の優勝はこれが最後であり、17年前のことでした。これを是非総合優勝に導いて欲しいとの勝手なお話ですが、これがこれからの話が楽しみです。

16年4月から駅伝の監督をしています。今日は卒業50周年の総会にお招きいただきありがとうございます。今の中大の駅伝にふがいなく思われていることでしょうか。現場の私達は理解はしていますが、質問をおつけてほしい。ご意見もいただきたいと思えます。先日の全日本大学駅伝、残念ながら熱中症などで途中棄権をしました。16年の予選会の棄権もあり、学生のスポーツですがいろいろとプレッシャーがかかるスポーツになつてしまいました。

中大はなぜ低迷しているか。96年の総合優勝、01年の往路優勝後、そこから徐々に順位が下がる一方で、学生を獲得するために各大学は力をいれています。青山、明治など力のいれようが良くなりました。東洋大は15年前から全学をあげて力をいれました。中大がこれからは下がり続けるか、上げていくか、なにをすべきか外国人をいれるか、他学からいい人を入れるかなどいろいろあるでしょう。しかし中大のプライドをもちたい。学内での風通しをよくしたい。学内で二致

して強化に乗りだしているの長い目で見てほしい。私は監督3年目です。1年目は、2年目は総合15位、そして今年です。毎年充実はしていて、今は過渡期です。3・4年生は前の監督の良しところを取り入れていってほしい。1・2年生は私の指導でやるでしょう。コミュニケーションを良くして納得のうえでやって行きたい。スポーツ推薦と一般学生が一致協力、切磋琢磨して力をだしています。しかし苦戦しているのも事実です。中大や早大は伝統校です。大学と協力、毎年10名の選手を獲得できるようにシステムを作っていました。あとは現場でどれだけ強くできるかです。6月30日の棄権は残念でしたが、その選手の責任ではありません。私の責任です。このくやしさをバネにしたいです。昨年は予選会でいいでしたが今年こそなんとでもがんばりたい。今年は山の対策などやっていい成果に近づいているのは間違いないと思います。

質疑応答

Q. 今年の予選会、ぜひ見たいです。昨年の予選会はずばりだったけれど以降レベルアップしているのがわかりづらい。

A. なぜ記録がでていないのか、若いので今の体調を無視して無理なことを妄想が先行する。勘違いするのを直して、自分で失敗して学ぶことが必要。学生なので4年間、目をくばって育てないといけない。人を育てて社会に送り出す。箱根に出られなくても「社会人として通用する人間」として送り出すのが必要です。現場のわれわれは危機

感をもつてやっています。確かに良くはなっている。一日一日を大事にしていきたい。Q. 藤原氏からみて青山学院はなぜ強くなったと思えますか。A. 「しがらみ」がなかったのだと思う。中大は「伝統校」で、OB会も力があり、その分忌憚ない意見もいただいています。それがプレッシャーにつながると見られることもあります。青学は「しがらみ」がなく、10年のサイクルがうまく回ったのだと思う。原氏は10年をかけて力を付けています。原氏もそうですが、「考える力」を養えるようにしたいと思えます。中大らしくビジョンをもつて勝ちたい。また原氏を否定はできないが中大があやつて勝つのはちょっと違うのではないのでしょうか。Q. 学生はどのような生活をしているのですか。A. 陸上競技部は7年前から「東豊田寮」で2人1室、1000名近くが生活しています。今の子はみな真面目で授業によく出席して偉いと思います。

会の財務に改善策が必要 白門43会 役員一同

白門43会は1995年に創立以来23年間にわたり活発な活動を継続してまいりました。会員間親睦のため、そして母校中央大学の発展のため私たちは、少しでも皆様の力で支えたいと努めてまいりました。活動を支えるにあたって必要な大きなものは「財力」です。財力の根拠はなによりも会員の皆様からの貴重

から補填をしております。た。いよいよこれまでというところで参加の皆様にも多少のご負担増をお願いいたしました。加えてこのように直接的な「経費」と並んで見逃せないのが副次的な費用、事務費であります。その中でも催しの連絡に関わる「通信費」についてもそれなりの費用がかかっております。郵便料金、印刷費などの増加によって今年度以上に関心をよめる必要ががあります。今年の「新春の集い」のお知らせから始めさせていただきますが、ご出欠の返信書に切手を貼付いただくようお願いして

おります。このような対策により少しでも43会の財務状況改善に寄与できればと思っております。白門43会の次年度繰越金は1995年度が557万円、2017年度が107万円と、大変に厳しい状況になつてきております。このままでは数年のうちに財源が枯渇し、活動を停止せざるを得ないことは必至です。会員の皆様への連絡をはじめ総会、新春の集い、会報また各種催事のお知らせなども充分に行えなくなるでしょう。貴重な財源のより有効な活用方を検討せねばなりません。財務検討委員会

を立ち上げ、充分な討議、検討をすすめ、他の年次支部のやり方なども参考に進めてまいります。今年7月の総会においてならかの方向をお示しできれば良いと考えています。

春の旅行会 風光明媚な岡山&直島へ

白門43会の恒例行事になった旅行会、今回は岡山県、香川県を訪ね、自然、歴史、文化、食にわたり日本の味を堪能します。四月23日(火)～25日(木)の日程で、主たるご案内は43会員の庭瀬藩主板倉家菩提寺・松林寺の住職・高橋良洋(宗哲禅師)さんです。36人限定のプレミアムバスでゆったりと岡山ナンパワンのガイドの説明により三日間の旅を楽しみます。一日目は松林寺にて高橋さんの法話「釈迦牟尼佛」を拝聴し、



岡山名物の松花堂弁当をいただきます。続いて吉備津神社、備中国分寺などの風光明媚な吉備路を楽しみ、県南最高の好眺望・王子ヶ岳の夕陽を眺め、瀬戸内のホテル泊。二日目はフェリーで「瀬戸内芸術の島」と呼ばれる「直島」へ渡り、ベネッセが開発した地中美術館で「モノの睡蓮」などを鑑賞、李禹煥美術館を経由しミュージアムレストランで海鮮丼の昼食、千住博、安藤忠雄などの「一家プロジェクト」を見学、岡山にもどり宿泊。三日目には日本三名園のひとつ後楽園を歴史説明員による丁寧な説明でゆっくりと散策。県立博物館では松林寺の所有する重要文化財「開山頂相」などを鑑賞、老舗割烹「二扇」で昼食。午後の曹源寺は備前藩主池田綱政の建てた池田家の菩提寺、優れた禅庭を鑑賞。このようなちよつと

50周年記念クルーズに参加して

花井 文雄

豪華客船タイヤモンド・プリ
ンセス号での横浜港―釜山―
四日市―横濱を巡る2018
年10月31日から11月5日ま
での6日間のクルーズです。本船
は11万5000トン、乗客定員
2700人、乗組員数1000
人で16階までの高さのある大
型船です。乗客は日本人がほ
とんどです。行きは九
州を回って釜山に入り、帰
りは関門海峡を経て、四国沖か
ら紀伊半島を通り四日市へ寄
港し横濱へ戻るといふ航路で
す。船が大きいので航海中の
揺れはあまり感じられませ
ん。

なにか気になりました。横
浜港大さん橋で12時半頃
チエタインし、龍門会長よ
り同室のYさんを紹介され
ました。とてもフレンドリー
な方で直ぐにお互い打ち解
けました。

チエタイン後クルーズカー
ドをもらい、二人で10階の海
側バルコニー付き部屋に入室
し荷物を置き身軽な服装に
着替えました。荷物は下船
時までそのままなので、荷物
整理の煩わしさから解放さ
れ気が楽になりました。部
屋はホテルのツインルームと同
じ感じがしました。海側でバ
ルコニーが付いているので開放
感があります。部屋のベッド
に横になり海を見渡せる雰
囲気は、非常に快適です。

横濱を10月31日17時に出
港してから、11月2日14時
に釜山到着までのクルージン
グ中は朝・昼・晩の食事はほ
じめ船内での色々なエンターテ
イメントが楽しめる。
いエネルギーである。

今年白門43会行事中のハ
イライトであるクルージングの
参加者は、ご夫婦、ご家族、
個人の参加者合わせて25名で
した。私は個人で参加し海側
バルコニー付きの二人相部屋を
希望しました。

クルーズ旅行は初めてで出発
前は相部屋の方はどうい
う方

毎月の葉書は
大事に保管しているのだか
人情に「大事に」とい
うことに気持ち向いてしま
い何回も繰り返して読むこ
とがなかなかというが実情
がある。しかしこのように立派
な書物になってみればちよ
と違う。

厚さわずか十数ミリとい
うこの本の世界はとつとも
広い。世界中、いや空へも旅
をしている気分である。いろ
んな出来事がある日常にはそ
れなりの記録・文章が残せる
と思う。しかし「なにもない
」ときその文章作りにも苦
労だろうが、また読む身にな
ってみればそこに面白さが
あるといふことも云える。
第210号ではご子息の凌

書評 「続 葛の葉通信・日々を味わう喜び」

喜多村葛枝さん著 円窓社発行

村葛枝さんは
毎月欠かさず
原稿を執筆、
葉書を印刷、
友人たちに贈
り続けて、今
手にするのは
第423号に
なる。今回の
掲載分は第
201号(04
年11月)から
第400号
(17年9月)
で、前回の本
編が発行され
たのが16年11
月、わずか1
年後に続編が
刊行されたこ
とは素晴らしい

鶴さん(講師)をとりあげ、
第219号では「主人とお
別れが書かれていた。なんとそ
の時の主人は70歳というお
若さであったという。世のなか
で最も長生きをしてほしい人
に亡くなられてしまったのだ。
」「おわりに」に書かれてい
るが11年の津波、原発事故
は喜多村さんの静かな生活
にも大きな精神的ショックを
与えたようだ。

音楽や映画などの芸術に
も造詣が深く、他の人には
まねのできないこの本の
良いアクセントになっている
。「日々を味わう喜び」
という言葉はご本人が
思っている以上に似合っ
ていると感じた。

カバーの写真が綺麗



日に水揚げされたもので新鮮
そのものでした。

釜山を2日夜出港し、3
日の朝に関門海峡に到着し
ました。関門海峡を船で渡
ることなど勿論初めてのな
で、バルコニーに出て周辺の景
色を眺めました。船旅でな
ければこのような経験はでき
ないでしょう。関門海峡から四
国、紀伊半島を通過し4日
朝に四日市に到着。入国手
続きを済ませ観光バスで松阪
町松阪を散策。松阪城址公
園、本居宣長記念館を訪問。

松阪城跡は他の城址跡と違
て石垣が多く残っており本
の意味の城跡の実感がしま
した。本居宣長記念館では映
像による本居宣長の人物紹
介があり、どんな人物であ
ったかがよく分かりました。
彼は子供のころから家の前
を通る人をよく観察していた
そうです。医者であり国学者
でもある宣長は江戸の著名
な国学者である賀茂真淵の
指導を受け35年を費やし古
事記伝を著した人です。17
歳の時に作成した日本地図
が記念館に展示されており
興味を引きました。昼は松
阪市内で松阪牛のすき焼き
を食べ、夕方に本船に戻り
ました。

本船は17時に出港し5日
の朝に横濱に戻ります。最
後の晩の為、早めに夕食を
済ませて、プリンセスシア
ターの前中央部の席を確保
し音楽とダンスを楽しまし
ました。良い席だったので、オ

ケストラの伴奏している人達
シンガー、ダンサーの顔はう
きり見えました。彼らのパ
フォーマンスは圧巻でした。
毎晩催し物が変わります。
前日のショーのエンターテイ
ナーはオーストラリアでスト
リートパフォーマンスをやつて
いた若者がロックバイオリン
として出演していました。
今回のクルージングでは龍
門会長のアレシジで、毎回テ
ィナーグループには参加者同
士で親睦が図れるよう席順が
組まれており、同室者のY
さんとは勿論のこと、初めて
会う方、或いは以前お目に
かかった方とクルージングの
楽しさを共有し、親交を深
めることができました。非常
に有意義で忘れられない出
になりました。

クルージング中お世話頂
いた龍門会長・島田さん、本
当にありがとうございました。

「群像を描いてみたいな。」
と書いてラメンコの踊り子を
描き始めて4年。基調色は
赤、黄、緑、モノクロと変わ
りました。2018年は、ピ
カソのゲルニカとラスメニナス
にヒントを得てモノクロに挑
戦してみた

と、ころ、い
つものギ
ンに派手
なイメージ
とは一変し
たからで
しょうか、
とても評判
が良かった
ことです。
来年は、
シヨッキ
ンクかそ



会員の鹽野恵子さんは18年に開かれた「第32
回 日洋展」に作品「2018 FLAMENCO」を
出展、400点近い入選点のなかで「奨励
賞」に入選、5月から6月にかけて国立新美術
館に堂々と掲額された。

「それぞれの今」

鹽野 恵子

平成29年度白門43会収支決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(収入の部)				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	1,233,988	1,233,988	0	
会費収入	17,000	4,000	-13,000	年会費延べ1→2年分、終身会費1→0人
記念総会懇親会収入	760,000	690,000	-70,000	出席者80→69人、会費9千円、雑入に差あり
2泊3日旅行参加費	2,890,000	2,750,880	-139,120	参加者34→32人
卒後50周年祝賀会収入	820,000	1,286,390	466,390	出席者80→99人、会費9,000→10,000円、雑入差
その他の収入	85,000	120,002	35,002	(注)1
合計	5,805,988	6,085,260	279,272	

(支出の部)				
科目	予算額	決算額	差異	摘要
総会費	720,000	689,418	-30,582	飲食費518千円、謝礼60千円、案内状外111千円
会報発行費	188,000	167,239	-20,761	製作費、発送費とも削減
2泊3日旅行参加費	2,865,000	2,725,993	-139,007	宿泊費、貸切バス代ほか。24,887円余剰
卒後50周年祝賀会費	882,000	1,351,433	469,433	(注)2
その他の支出	95,000	78,743	-16,257	(注)3
次年度繰越金	1,055,988	1,072,434	16,446	(注)4
合計	5,805,988	6,085,260	279,272	

(注) 1. その他の収入 120,002円の内訳
支部活動支援補助金 100,000円、講師料一部補助金 20,000円、預貯金利息 2円

2. 卒後50周年祝賀会費 1,351千円の内訳
飲食費 861千円、手土産 166千円、記念品 96千円、応援団謝礼 70千円及び案内状ほか 158千円

3. その他の支出 78,743円の内訳
祝い金(対白門42、44&46会) 30,000円、広告掲載料 10,000円、年次支部協議会関係費 16,500円
及び郵送料・送料ほか 22,243円

4. 次年度繰越金 1,072,434円の内訳
ゆうちょ銀行の振替受払(払込金受払口座) 80,930円、定期貯金 600,000円及び普通貯金 214,770円
並びにみずほ銀行の普通預金 176,734円
ちなみに平成7年(初年)度末の「次年度繰越金」は、5,569,994円である。(「白門43会会報」第2号)

<参考> 会員の状況→現会員:367人、自己都合退会会員97人、死亡退会会員47人(平成30年3月31日現在)

平成30年度白門43会収支予算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(収入の部)				
科目	予算額	摘要		
前年度繰越金	1,072,434			
会費収入	4,000	年会費		
記念総会懇親会収入	800,000	参加費720千円(9千円/人×80人)、祝い金60千円、講演料補助金20千円		
ショートクルーズ収入	2,300,000	参加費2,300千円(100千円/人×23人)		
「新春の集い」収入	630,000	参加費630千円(9,000円/人×70人)		
その他の収入	120,000	前年度実績並み		
合計	4,926,434			

(支出の部)				
科目	予算額	摘要		
記念総会費	854,000	飲食費627千円、講演・演奏謝礼130千円、案内状関係費外97千円		
会報発行費	200,000	制作費165千円、発送費35千円		
ショートクルーズ費	2,300,000	収入見合い(受益者負担)		
「新春の集い」費	580,000	飲食費490千円、講師謝礼30千円、案内状関係費外60千円		
その他の支出	80,000	前年度実績並み		
予備費	912,434			
合計	4,926,434			

編集後記

去年は卒業後50年、そ
して今年に改元と大きな
節目を迎えています。全
国の43会員皆様の輪をつな
ぐ会報をお届け致しま
す。日常の会活動になか
なかご参加いただけない方
にも会全体の様子をぜひ
ご覧いただくことも、ど
うぞ皆様からも原稿・作
品などをお寄せください。
多数の同期生の絆は固く
長く続いています。

43会は結成24年となり
「完熟期」といえますよ。
ますます元気で過ごし
てください。

- ### 会員訃報
- 以下の会員が亡くなり
ました。謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。
- 大石恒雄さん
商学部商業貿易学科出身
東京都府中市在住
2016年4月9日、逝去
 - 加藤正純さん
法学部法律学科出身
千葉県佐倉市在住
2018年2月28日、逝去
 - 赤塚 碩さん
法学部法律学科出身
三重県津市在住
2018年1月25日、逝去
 - 寺西 正さん
法学部法律学科出身
愛知県名古屋市中区在住
2018年10月25日、逝去
 - 海道俊雄さん
商学部会計学科出身
富山県高岡市在住
2018年2月17日、逝去